

## 01] 随筆「月光仮面」

職場の安藤▽口君が昭和46年秋ドイツの大学へ留学することになり、彼愛用のヤマハスポーツバイク(275cc)一式とサンスイ製オーディオコンポ一式を10万円で譲りたいというので、元々欲しかった物でもあり、賤別にもなるからと言いついで買取った。安藤君は金沢の医薬品卸◎◎薬品の跡取り息子で、無給の身ながら中々リッチな生活をしていたので、これらの二つが手に入ると自転車とラジオしか知らなかった私までが何かリッチな気分になり、また日常の行動域も急に拡大し、アチコチ遠くまで出掛けるようになった。このバイクは性能が良く80km/Lは走った。

晩秋のある日曜にガソリンを満タンにして琵琶湖一周に出掛けた。京都から琵琶湖へは国道1号逢坂山峠の難所を先ず越えねばならないが、バイクはその登坂道を快調に走った。ところが坂の中間点を過ぎた辺りから何やら調子がおかしくなってきた。京阪大谷駅の数百メートル手前であえなくエンジン停止してしまった。見たところエンジン付近が焦げ臭く高温になり、ちょっと煙も出て焼きついている感じであった。止まっても仕方がないので大津で修理して貰うべく手押しで坂を登った。275ccといえどもかなり重くて一苦労したが、峠を越えると大津の街までは下り坂なので助かった。札ふだの辻つじに小さな自転車屋があり、バイク修理もやるらしいので店主に経緯を説明した。60歳くらいの店主が一目見て「こりゃあオイル切れで焼きついとるわ!」と言い、「こんなことも知らんのんかいな?」というような顔で故障の原因を説明して呉れた。それによると、4サイクルエンジンのバイクには燃料タンクとオイルタンクがあり、燃料とオイルを混合して燃焼室に送っている。オイルは燃焼室壁面とピストンとの接触面の遮断とエンジン全体の潤滑油として働くと同時に燃焼もし、また燃焼熱を空冷放熱板に伝える熱媒体としても働いているそうだ。上記の故障は、オイルがなくなり摩擦熱と燃焼熱で過熱してピストンが焼きついたらしい。店主はオイルを補充し「1,000円もろとくわ。エンジンが冷えたら始動してみ、オイルは忘れんと何時いつも補充しいや。」と言って修理完了を告げた。15分ほど後に目出度くエンジンが掛かったので一安心し、その日は予定を短縮してサンケイバレー(今の琵琶湖バレー)辺りまでドライブして帰った。

## [02] 随筆「こむら返り」

私はソフトボールやロード自転車乗りを日頃やるので数ヶ月に1度真夜中に太ももの筋肉が吊る「こむら返り」の激痛で目覚め、苦悶することがある。「こむら返り」が起こる前の就寝前くらいには足の筋肉が小さく痙攣する予兆が出ることもあり、こんな時はソフトボールクラブの言い伝えでツムラ漢方薬68番の「芍薬甘草湯エキス顆粒」（2.5g）を服用すると予防が出来るし、「こむら返り」が起こった後も服用すると症状が緩解する。それで、ソフトボールやロード自転車の用具入れには「芍薬甘草湯エキス顆粒」が3包が忍ばせてある。足吊りやこむら返りが起こった時にはこれを1包服用すると、5～10分後には症状が治まり、その後4～6時間は安心していられる。

「芍薬甘草湯エキス顆粒」の成分は、

日局カンゾウ：6.0g

日局シャクヤク：6.0g

添加物：日局ステアリン酸マグネシウム、乳糖



であり、混合生薬エキスが本品1包中2.5g含まれ、効能には「体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症：こむらがえり、筋肉のけいれん、

腹痛、腰痛」と書かれている。筋肉の鎮痙作用は、カンゾウに含まれるグリチルリチン酸が筋肉の収縮に必要なカリウムイオンを取り除くためだと言われているが、「こむら返り」や顔面神経痛などの筋肉の痙攣を抑える鎮痙作用の治療には「芍薬甘草湯エキス顆粒」が最も優れていると言われている。処方箋としては、1日毎食後1包ずつ服用するそうだが、「こむら返り」の場合は用事1~2包服用すれば事足りる。服用直後には血圧が一時高まるそうだから注意を要する。

「芍薬甘草湯エキス顆粒」は医師処方箋で治療薬の値段で貰える場合と、薬局で第2医薬品として一般販売されているが、私は高血圧で2か月に1回近所の診療所の医師の診断・投薬を受けているから、1年に1回くらいかかりつけ医に処方して貰っている。

## 03] 随筆「漢方薬の話」

世間の人々は「漢方薬は天然ものなので安心だ」とよく言うが、それは明らかな間違いだ。植物や動物体の全部または一部分、あるいは植物体や動物体から産出～排出されたものを乾燥・切断・粉碎・抽出・発酵等で加工したもの、および一部の鉱物体が「生薬」と呼ばれるものである。生薬は穏やかな生理作用を持つものが大半だが、中にはほとんど生理作用を持たないが故に安全なもの（例、サイの角、蟬の抜け殻）がある反面、致死性毒劇物（例、ジギタリス、トリカブト、ハシリドコロ、蝦蟇毒、辰砂、亜ヒ酸）も少なくないので、「漢方薬は安全」という世間一般に流布されている噂～思い込みは正しくない。

単味の生薬を数種混ぜて方剤（処方薬）とすると、単味の場合より生理作用（薬効）Aが強く、生理作用（薬効）Bが弱く発現するような現象が古代中国で発見され、その後種々の生薬の組合せとその応用の試行から多くの方剤（漢方薬）が生まれた。この間、生薬や方剤の患者への適用に当たっては数え切れないくらいの試行の繰り返しによる失敗と成功があったことだろう。

漢方医学とは狭義には漢方薬を用いる医学体系のことを言い、我国へ古くから伝来した中国医学（中医学という）が日本で発展したものをいう。中医学は古くは奈良・平安時代以降に中国へ派遣された留学生や僧、渡来人、あるいは朝鮮半島を経て日本に伝えられた。江戸時代には長崎貿易を通じて生薬と共に更に新しい知識や技術が伝わり、日本で更に吟味淘汰洗練されて漢方医学は発展したのである。中医学や漢方医学は大変複雑で難解であるので、細部を切り捨て要点のみ簡潔に絞って説明すると、漢方医学には中医学から伝わった独特の思想に基づく“証、と呼ばれる診断ポイント（陰陽、表裏、寒熱、虚実、気血水）がある。漢方医学では、これらの証の組合せに対応した治療法と漢方方剤（漢方薬）があり、患者の症状により方剤中の生薬量の匙加減や、新たな生薬の加味が行われる。証は今日の西洋医学で言えば、体温・血圧・心拍・呼吸検査・心電図・血液検査・CT/MRI/X線/エコーの映像・胃腸内視鏡カメラ検査・問診などのデータに相当するものであろう。西洋医学のデータは客観性の高い科学的なものであるのに対し、証の診断やそれに基づく漢方薬の処方漢方医により主観的かつ経験的な勘～家伝的な伝承に基づいて判断されるもので、総体的に科学性に乏しいと言われている。この点が科学と客観性に基盤を置く西洋医学との大きな違いである。

漢方医学は科学性に乏しいためか、我国では漢方医の公的免許制がなく、「漢方専門」とあってもレベルは様々で、未だマイナーな存在である。一方我国では、東洋医学の中で「鍼灸」、「按摩（マッサージ）」や「整骨（ほね接ぎ）」に対してはその効能や技術が認められ、大学学部～専門学校もあり、かつ公的免許としてそれぞれ「鍼灸師」、「柔道整復師」の国家資格がある。鍼灸師や柔道整体師による基本的な治療・施術の多くは健康保険対象に

なり、医療の中で庶民が手軽に広く利用しているが、いずれの資格も世間の一般的価値観では医師のそれよりかなり低いようだ。このような状況をみると、日本の東洋医学の中で漢方医学だけが疎外されて公的免許制度がないが、これは恐らく西洋医学中心の今の医療制度の中で政治的に強権をもつ日本医師会の排他性が根強く残っていることのない。そして、今の医師は、新技能・知識、新しい機器や治療法の習得に手が一杯で、漢方医療にまで手を回す余裕がないが、だからと言って漢方医の公的資格を作ってそれを手放す心の広さも勇気もないためではないかと想像している。

ところがその代わりとして、我国では150種近くの漢方薬の有効性・安全性・有効成分等が科学的に解明されている。漢方薬は従来、一般に適用直前に煎じたり、練ったり、丸薬にしたりなどの工程が必要であったが、これら150種の漢方薬は、エキス顆粒などの剤形にして飲み易く加工されて密封包装されており、健康保険適用薬となって臨床に用いられ、あるいはやや高価ではあるが一般薬として市販されている。そして、約9割の臨床医がそれらの有用性を認め、近代医療の中で西洋薬と同じような感覚で補完的に活用している。鼻根目と言えば、伝統的東洋医療をうまく近代医療に採り入れ、欧米にはない日本独特の医療環境を構築していると言える。残後記99で述べたように筆者は大腸がん手術（大腸を20cm切除）直後から「大建中湯」という漢方薬を処方されて服用した。大建中湯を1週間毎食後に服用したが、最初の排便は多分腹部が痛いのだろうと覚悟していたが、術後5日目に柔らかな便が力まなくても排便できたのには大変驚き、その優れた整腸作用を自ら認識し、その素晴らしさと有用性を身をもって体験した。これら150種の漢方薬には一般に即効性のものは少なく、時間をかけて体質改善を図るものが多いが、勿論副作用はあるので、一般の人がドラッグ等で自らの意志で購入・服用する場合には要注意である。

近頃、漢方薬もどきの怪しげで眉唾もの高価なサプリや美容剤が巷に出回り、人々を惑わせている。対象になる病状・効能は、便秘、美白・脱シミ、肥満、糖尿病、コレステロール、腰・膝痛、強壮、美容、髪染め、抗酸化、睡眠が多い。有名芸能人などを使ったこれらの商品のCMはTV、雑誌、新聞などに溢れていて、ついつい引っ掛かって購入してしまう人が多い。効き目の有無に注意を払うのは当然だが、有害な副作用・毒性にも大いに注意が必要だ。これらは薬のように厳格な規制がある訳ではなく、食品や化粧品扱いなので、余程の問題が発生しない限り行政は動かない。その上、価格も低い製造原価に関わりなく様子見価格となっていて、大抵数千円の誘引価格帯に設定されているし、CMの中には購入を煽る仕掛けがこれでもか、これでもかと用意されているので、この面での注意も必要だ。使用開始後、または使用中断後暫くしてから（例えば、数週間～1か月後）の目的症状・目的効果・副作用・毒性の有無を自分の目と感覚で確かめることが自らの防衛（身体的に、財布的に）にとって大切であろう。

## 枯草庵残光記 272 「ロードバイクのチェーン取り換え」

### 1. はじめに

私の現在の愛用ロードバイク（車道走行用スポーツ自転車；図1）は、台湾の企業が自転車先進国である日本で生産している“GIANT CONNECT”という商品名であり、6年ほど前にネット通販で10数万円出して買ったもので、スポーツ自転車としては中級品である。GIANT CONNECTには更に幾つかのサブタイプがあり、所有品の型番は「S」で、スペック（仕様）は脚注5に示す。ギヤは10×2の20段、車体重量は8.9Kgとまずまずの軽量で（脚注3参照）、今のところ順調・軽快に走れている。

私は服や靴・時計・帽子・鞆・眼鏡などの身につける装飾品でも殆どブランド名に拘らない性質なので、自転車の方でも格好のよい高価なイタリア製やヨーロッパ製の高級自転車には全く興味がなく（脚注4）、これまで所有したスポーツ自転車も日本のブリジストン製クロスバイク中級品（新品；6年ほど愛用して近隣の友人に譲渡）とミヤタ製部分的カーボンのロードバイク中級中古品（6年ほど愛用して廃棄）であった。そんなことから、自転車、アクセサリや服装を美しく保ちながらカッコよく乗るようなことは余り考えておらず、まともに安全に走ればよいという主義なので、外観はアチコチ汚れだらけ、傷だらけである。



図1. 我が愛用のロードバイク

さて、先日自宅近くの歩道上を注意しながら比較的ゆっくり自転車で走っていたら、春休み中の中学生くらいの女の子が乗った自転車が側道の坂道から勢いよく私の前に飛び出してきたが、私の方で咄嗟に衝突を避け、何とか事故らずに済んだ。所がその拍子に、回避した勢いで私のバイクのチェーンが外れてペダルロッドに固く巻いて絡み付き、外せなくなった。何故そんな風にチェーンがペダルロッドに巻き付いたのかは全く理解できない状態である。手押しで自宅に持ち帰り、20分ほど苦戦したがビクともしなかった。そのため止む無く鉄のこぎりで切断して、チェーンをやっとこさで取り外した。

ところで、上記の事件が、もし衝突して双方が負傷する事故であったとしたら、恐らくロードバイクに乗った方の、後期高齢者ではあるが大人の自分の方が加害者＝悪者にされてしまう、場合によっては新聞種になっただろう、と考えると、自転車保険には加入しているものの、少々ゾッと話す話ではある。

スポーツ自転車の一寸込み入った修理は、これまで自宅から3Kmほど離れた所にあるスポーツ自転車専門店「フカダ自転車店」に持ち込んでやって貰うのだが、恐らく1万円くらいは取られるだろうと思うし、あちこちオーバーホールを勧められて3万円くらい取られることも大いにあり得る。これまで稼ぎ働きしていた頃は



余り考えなかったが、働くことをやめて年金暮らしになって3万円はちょっと痛い。そこで、チェーン交換の経験はないが、この際勉強にもなることでもあるので自力でやることにした。考えてみると、この歳になって他の人が余りやらない新しいことに挑戦できる機会が訪れたのは、幸いであり、愉快であり、有難いことだとプラス思考に切り替えることにした次第である。

## 2. チェーン及び修理工具の購入とチェーンの取り付け

### 1) チェーンを選択

WEB（文献1）で調べてみるとチェーンには変速機のない自転車用のものと、変速機がついている自転車用のものがある。ロードバイクは当然のこととして後者である。後者用チェーンには変速機の段数（6段、10段、12段、20段、24段、30段など）によって構造（チェーンの厚み・長さ）が少し異なる。即ち、段数の多いほどチェーンの厚みが薄いのである。

自転車チェーンは図2に示すように、インナーリンクとアウターリンクが交互に繋がっており、このユニットは図2の右側2列に示す部品から構成される。インナーリンクは8の字形リンク2個とシャッフルのようなコマ2枚（図2中央列）、アウターリンクは8の字形リンク2枚とリンク同士を繋ぐ2本のピン（アンブルピンとも言う；図2右列）から成る。変速機用のチェーンはこの二種のリンク（L）が55～59個交互に繋がって販売されている。これを110L～118Lのように表現する。私のバイクのチェーンでは、リンク数が106個（106L）であった。



図2. チェーンの一部と部品

自転車のチェーンはリング状（輪状）で販売されているのではなく、一本の鎖状で売られている。そのため、自転車のギアに巻き付けた後、次の①又は②の方法でチェーンの両端を繋ぐ必要がある。

- ① 一方の端がインナーリンク、他端がアウターリンクの場合：両端のリンクの穴に所定の長さのアンブルピン（通常、購入チェーンに2本付属している；このピンは他のピンと色が異なっていることに注意 → 説明は後述）をチェーンカッター（図3）という工具で通し、固定する。
- ② 両端ともインナーリンクの場合：ミッシングリンク又はクイックリンクと呼ばれる特別なアウターリンク（図4；通常、購入したチェーンには一対が付属している；このピンは他のピンと色・構造が異なっていることに注意 → 説明は後述）を両端に取り付け、固定する。

私は、②の方が簡単に取り付け・取り外しが出来、再利用もできるので、①よりも便利だと思う。

それで、アマゾンで調べたところ台湾製20段用の116L、ミッシングリンク（2個付き）



図3. ミッシングリンクの対  
（右下の2つを剥き合わせ左上のように結合）

で繋ぐものが1599円で販売されていたので注文した。

## 2) ミッシングリンクを使うチェーンの取り付け

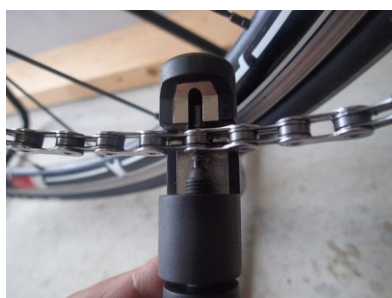
### ① チェーンを所定の長さに調整する

切れた古いチェーン(106L)と新しい116Lのチェーン(両端がインナーリンク)を並行に真っ直ぐ並べリンク数を比較・確認する。ミッシングリンクの場合は、2L(一对)が後で入るので新しいチェーンをチェーンカッターで切って104Lにする必要がある。

切ったチェーンの長さが104Lになる位置を図4(中央の写真)のようにチェーンカッターの溝に入れて挟んでセットし、ハンドルを回してピンを押し出す。取り外したピンは捨てても構わない。切れ端の6Lは後日に備えて残しておくといよい。



図4. チェーンカッター



チェーンの切断



取り外したピン

### ② チェーン取り付け

104Lのチェーンを自転車の前後の小ギアに巻き付ける(図5A)。

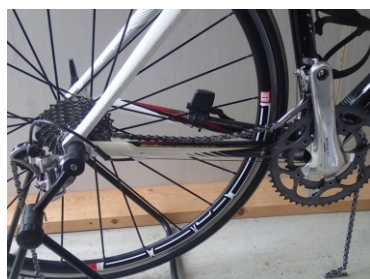
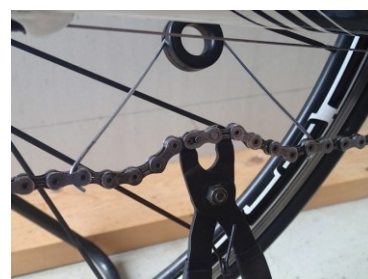


図5. A:ギアへの巻き付け



B:ミッシングリンクを付ける



C:リンク用プライヤーで固定

次いでチェーンの両端近くにチェーンフック(図5B, Cに写っている“やじろべえ”のような形の器具;今回買ったリンク用プライヤーに小型のものが付属していて助かった)のフックを掛けて引き寄せ、両端のリンク穴にミッシングリンクを取付ける(図5B)。通常、ミッシングリンクは他のリンクと直ぐ区別できるように色を変えてあるが、外見の形も異なっているので見分けやすい。→ チェーンを外す時はここを取り外すのが普通である。この理由は、此処が他のリンクのピンよりも抜けやすくなっているという事だ



ろうと想像している。なお、チェーンフックなしでやると、両端を引き寄せて作業するのが大変難しいことが分かった。

そして、最後はミッシングリンクの外の溝にリンク用プライヤーを差し込んで押し広げ、固定する。

### ③ 油を差す

新しいチェーンに油を差し、動きを滑らかにする。とくにミッシングリンク部分の動きが悪くないか確認する。

### ④ 古いチェーンは捨てる

古いチェーンは摩耗や伸びもあるだろうから捨てることにした。今回の事件の場合、経年の摩耗や伸びでチェーンが外れ易くなっていたのだろう。

## 3. 備忘録

### 1) 費用

今回の件では同級生のM氏から「チェーンなら自転車屋で2千円も出せば直してくれるのに。手も汚れるし。」と忠告されたが、ロード自転車専門店では最低でも6～7千円は取られると思われるので、小さいことながら自分の幅を広げるために、この際実習付きの勉強をすることにした次第である。アマゾンで下記3点（いずれも台湾製）を合計3498円で購入した。

ZHIQIU チェーンカッター 自転車用 修復工具【1 - 11 速対応】	999円
FSC 変速自転車用チェーン 10 速 20 速 30 速用 116L 型番：F10	1599円
BIKE HAND ミッシングリンク用マスターリンクツールYC-335C0	900円

この値段で勉強・実務実習まで付いているとすれば、満足と言うべきであろう。

### 2) アンブルピンによるチェーン両端の結合

2. 2) ではミッシングリンクによるチェーン両端の結合を述べたが、オーソドックスな方法としてアンブルピンを用いる方法があるので、以下に記す。

- ① 長さを調整（今回の私の場合なら、106L）した新しいチェーンの両端の一方をインナーリンク、他端をアウターリンクとする。ミッシングリンクの場合と違ってこの場合は結合によりリンク数は増えないことに注意する。
- ② チェーンフックを使ってテンションが掛からないように両端を引き寄せ、穴に新しいピン（大抵、新しいチェーンに添付している）を差し込む。次いで、チェーンカッターにセットする（図6A）。
- ③ チェーンカッターのハンドルを回し、ピンを所定位置まで押し込む（図6B）。
- ④ 差し込んだピンの余分にはみ出している部分をチェーンカッターのサイドの穴に入れ、捻って折る（図6C）。
- ⑤ 新しいチェーンに油を差し、動きを滑らかにする。



図6. ピンを差し込む



ピンを押し込む



余分な部分をカット

#### 4. 終わりに

私はこれまでチェーンの交換は、リング状（輪状）の形で交換するものとばかり思い込んでいたが、今回初めて一本のライン状になったものを取付け、両端を結合させることを始めて学習した。考えれば、その方が手間は掛からずに短時間で交換できるのである。

上に記した作業の中で、無知とは言え小さなミスを二つ侵した。それは、古いチェーンを外す時、このチェーンのミッシングリンク（色と形が他のリンクと違う）の位置ではなく、他のリンクの所を鉄ノコギリで切ってしまったのだ（ミスその1）。ミッシングリンクが手の届かない所にあったのなら話は別なのだが、常識を知らないと言うのは情けない。ま、捨ててしまうチェーンだから何処で切っても良いというものだが、せめて一對300円ほどするミッシングリンクを外して後々のために保存しておけば良かった（ミスその2）、と少々後悔している。

今回、図らずも自転車のチェーンを取り換えなければならない事件が発生した。これを災難と考えず、プラス思考した。即ち、これまで経験しなかったチェーン交換の知識・技術を習得する機会が得られ、誠に幸いであるとともに、この歳にして学べる意欲があることは大いに感謝すべきことである。また今後、中～長距離サイクリングに出掛ける時には、チェーン修理の工具も持参できることとなり、対応の幅が広がったことは、誠に有難く感謝の至りである。

#### 文献&脚注

- 1) チェーンの構造・選択と取り換え：  
<https://cyclehack.jp/60/>  
<https://jitenasha-hoken.jp/blog/2015/07/chain-change/>  
[https://www.riteway-jp.com/maintenance/mainte\\_35chain.html](https://www.riteway-jp.com/maintenance/mainte_35chain.html)
- 2) 本文に使用した図2～5の写真は、1)に記した文献から引用した。ここに謝意を表す。
- 3) 参考：所謂ママチャリの車体重量は20Kg前後である。
- 4) 日本製のブリジストン、シマノの高級自転車も世界のブランド品として著名であるが、カッコの良さとしてはヨーロッパ品には少し負けるようだ。但し、シマノやパナソニックの自転車用部品は精巧・耐久性で高級ブランドである。
- 5) 我が自転車GIANT CONNECTの詳しいスペック  
品名：GIANT CONNECT S

SIZE: 430 (XS), 465 (S), 500 (M), 535 (ML) mm

WEIGHT: 8.9kg (465mm)

¥136,500 (本体価格¥130,000)

フレーム ALUXXSL-Grade Aluminum OLD130mm

フロントフォーク Advanced-Grade Composite、Aluminum OverDrive コラム

BB セット SHIMANO SM-BB71-41BPressFit (BB86)

ギアクランク SHIMANO R56534/50T165mm (XS)、170mm (S)、172.5mm (M、ML)

チェーン SHIMANO TIAGRA

F. ディレーラー SHIMANO 105 直付用

じゆこ

R. ディレーラー SHIMANO 105

シフター SHIMANO 10510S

ブレーキセット TEKRO R540 Cartridge Pads

ブレーキレバー SHIMANO 105

ギア SHIMANO 105 10S 11-25T

ヘッドセット FSA シールドカートリッジ 1-1/8"-1-1/4"

ハンドルバー GIANT CONNECT 31.8400mm (XS、S)、420mm (M、ML)

ハンドルステム GIANT CONNECT 31.880mm (XS)、90mm (S)、100mm (M、ML)

サドル GIANT PERFORMANCE LITE

シートピラー GIANT CONNECT Composite 30.9x350mm

シートクランプ Aluminum SEATPIN ダブルボルト

ペダル GIANT GR-01

F ハブ FORMULA 24H

R ハブ FORMULA 28H

リム GIANT P-R224H、28H

スポーク DT COMPETITION 14-15G

タイヤ GIANT P-R3 700x23C

チューブバルブ 仏式バルブ

付属品 ベル

## [06] 随筆「自転車で琵琶湖一周」

200×年（平成1×年）9月24日65歳誕生日に36年間勤めた◎×職場を無事定年退職した。

36年の間に起こった様々なことを振り返ってみると決して平穩無事ではなかったと思うが、定年退職の時点では無事だったという意味である。

職員の皆さんから退職記念品としてロード用自転車を頂いたのは、通勤途上で20年間続けた自転車乗りを退職後も運動として続け、少なくとも80歳位までは足腰健康でいたいという私の希望からである。

退職後の半年はのんびり過ごしたかったのでどこにも勤める積りはなかった。

最初の1カ月は年金関係、失業一時金申請の手続き等々何かとやることはあったが、天気の良い日はロードバイクでの走行を優先し、琵琶湖岸や信楽・東近江・瀬田川畔などへせっせと出掛けた。

ロードバイクには速度・距離計が付けてあり、1日30~50Km走ることも苦にならず秋の景色を楽しんだ。



そして10月末になると琵琶湖一周（約220Km）したいという願望が沸々と湧いてきた。

インターネットで調べると自転車での琵琶湖一周にも色々ある中で、「南は東海道の瀬田の唐橋を渡り、北は旧北国街道8号線の賤ヶ岳トンネルと国道303号の山道を通る」ルートが正統なものであるそう。

新しい琵琶湖大橋や近江大橋を渡ったり、湖北で海津大崎辺りの湖岸を走る脇道ルートは正式な琵琶湖一周ではないということらしい。

退職後1カ月のトレーニングで体力と脚力は十分ついたと思われたので、11月上旬の2日間連続上気予報されるウィークデーに時計回りで琵琶湖一周を決行することにした。

1日で一周することを原則としたが、万一体力が保たない場合や自転車の故障で大きく時間をロスした場合の宿泊を想定しての2日である。

因みに、真夏は暑過ぎるし、12月~2月の湖北は風が強く寒くて、雪も降って琵琶湖一周は一般に難しいと言われている。

時計回りとした理由は、○▽市から出て○▽市に戻る場合、琵琶湖地形の傾斜から見て僅かな登り下りの差ではあるが、ラストステージを下り（南行）にする方がよいと考えたからである。

パンク修理道具一式・小型空気ポンプ・雨具・緊急食糧・薬などを入れた小型リュックを準備した。

11月10日頃のまだ薄暗い朝5時過ぎ、おにぎり2つを家内に作って貰って「ダウンしたら電話するし、迎えに来てや!」と告げ、自宅を勇躍出発。

○▽市の自宅から琵琶湖一周の始点となる湖周道路まで西行約7キロを20分ほどで走った。

そこから直ちに湖岸沿いを南行して6時頃に三上山方向のご来光を拝みつつ無事一周を祈って瀬田の唐橋を渡った。

国道161号線を30Km/h前後の速度で快調に北行し、家から約45Km走った7時頃和邇の路傍を少し入った田舎道で小休止。

チョコレートと干し葡萄を食べたが、気分は爽快。次の休憩予定を約15キロ先の白髭神社に設定して出発したが、和邇から蓬萊・近江舞子・高島辺りまでは緩やかな上り坂で平均速度は20Km/h付近にダウン、8時頃白髭神社に到着し小休止しておにぎりを食べた。

この先のマキノ辺りから難関の湖北山間部に入っていくと体力がかなり消耗すると思われたが、取り敢えず35Kmほど先のマキノ追坂峠の道の駅を次の休憩予定地点に想定して8時半頃出発した。

新旭を過ぎた辺りの161号線湖北バイパスからは緩やかな登り坂が続き少々汗をかきながらペダルを漕いだが、天気が好く向かい風が殆どないので助かった。

マキノを過ぎてマキノ追坂峠の道の駅に至る1.5Kmの道を仰ぎ見るとかなりきつい上り坂で、ちょっと恐れをなしてその手前で急遽予定を変更して下り方向へ進み、眺めのよい湖岸を走ることにした。海津大崎の二本松海水浴場で停車、小休止し穏やかな湖北湖岸の景色を堪能した。11時頃、10Km先の国道8号線との分岐点に向けて出発。

永原駅を越えて国道303号線に入り東行、少し坂を登って1Km長のトンネルを抜けた所は長い下り坂で、そこを快調に下って国道8号線との分岐点に12時頃到着、小休止した。

湖北の難所を越え、湖東に出たのである。そこから木之本への道も緩い下り坂で、木之本から西行し湖岸の湖北「水鳥ステーション」(道の駅;計125km地点)へ着いた時は13時少し前だった。

そこで天麩羅そば定食を食べて一息ついていたら、店のおばちゃんが名物団子を1つサービスしてくれた。



13時半頃 10Km 先の長浜豊公園に向けて出発、大分疲れたので豊公園で小时昼寝をした。3時少し前に出発、くねくね曲がりのため距離が意外と長い湖周道路をひたすら走っては小休止、腹が空いてはちょっと食べ、また走ることを繰り返し、○▽市湖岸の周回開始地点に辿り着いたのは比叡山に夕日が吞まれて薄暗くなった 18時半であった。

19時頃ヘトヘトになって家に帰着した時は、もう真っ暗だった。計 235Km を休憩時間込みで 14 時間で走破、足は棒の様になり疲れ果てていたが、達成感からか気分は爽快であった。

家内からは「ご苦労さんなこっちゃん。疲れたやろ、アホやなー！」の呆れ声、私からは「また行くで一、次は 10 時間切ったるー！」の声。身体・自転車の故障もなく無事 1 日で完走できたことに満足し、その晩はぐっすりと眠った。

その後も 3 回琵琶湖一周を試みた。

湖岸道路ではなく旧中山道(国道 8 号線)を北行する反時計周り正統経路で 1 回、時計周り湖北湖岸経路で 1 回、向い風となる比良八講の強い北風が吹く日に已むなく木之本目前でダウンして湖東を引き返した「未完成」が 1 回。

健康でおれることにあちらこちらに向かって感謝感謝である。

## [07] 随筆「初めての救急車」を書きました。

祖父の代から我が家は救急車には余り縁が無い。祖父母も父母も救急車に乗って病院に担ぎ込まれることもなく他界したし、近親者で事故や事件に巻き込まれて 119 番のお世話になった者もない。

とは言え、日本中の大抵のところでは掛けると直ぐ対応してくれる 119 番・110 番の緊急電話システムがあることは安心であり、大変有り難い。

昨秋生まれて初めて 119 番通報する機会があった。家内と高野山詣りすべく河内の羽曳野 IC で高速道路を下おりて国道 170 号を走っていた時、道路の真ん中にバイクが倒れていた。

丁度朝の通勤時間帯で車が多く、車は次々とその横をすり抜けていたので、私も横見しながら通過しようとしたら、バイクの陰に人が倒れているではないか。

急ぐ旅でもなし、夫婦とも物見高くお節的な性格でもあるのでバイク前方に緊急停車しよく見ると、男性が気を失って倒れていた。

余り大怪我をしている風でもなかったが、兎にも角にも人身事故なので 119 番したら、直ぐに確りした応答が返ってきて感心した。

私達の現在地の説明がシドロモドロだったので、見かねた地元の人が代わって伝達してくれた。

その約 10 分後には早や救急車・工作車・パトカーが相次いで到着、5 分後に被害者を搬送して行った。

来るのは救急車だけかと思ったら最近では交通事故でも規模が大きいことが多いので、種々の救助工具を積んだ工作車と交通整理・現場検証のパトカーがセットで出動する体制らしい。

次に警官が私達や目撃者へ聴取を行った。

目撃者談によると私達が現場を通る 5 分くらい前に車線変更した中型白色トラックにバイクが接触し転倒、トラックはそのまま走り去ったらしい。

10 分くらいの聴取で解放されたが、通勤時間帯とはいえ沢山の人が通った筈なのに、くだんの目撃者(歩行者)も含めてどうも事件との関わり合いを避け 119 番通報を積極的にしないようで、嘆かわしい限りである。

話は変わり、私は 50 歳代前半、職場で頭がズキズキ痛むので近くの医院に行ったら、風邪ではなくて血圧が 200 以上もあり高血圧と診断された。色々脅おどかされてノルバスク(Ca 拮抗薬;アムロジピン)を処方され、それ以来 20 年間あれこれと降圧薬を服のみ続けてきた。今では朝夕計 5 種類の循環器系薬を服用して生きながらえている。

私の高血圧は本態性要因 30%、心理的要因 70%だと自分では思っている。

その証拠に定年退職後家にいると薬はなくとも血圧はほぼ正常なのだが、ややこしい用

事や仕事が入るとすぐに 140~160mm/Hg になる。

しかし、高血圧は労災の対象にはならないらしい。それはともかくとして、健康診断や半日ドックではいつも高血圧の烙印を押されるし、MRI 検査や眼底検査では動脈硬化や心臓冠動脈狭瘻が大分進行しているようだ。

201×年 12 月 20 日はちょっと寒い日だったが、義兄の徳▽さん、近所の佐○さん、石◇さんと甲賀市水口のベアーズ・ポー CC でゴルフをした。

ハーフを終えレストランで昼食中、石◇さんと熱燗を飲んだ。話が弾んで盃に 4~5 杯飲んだ頃、急に思考が停止し、体が右へ傾き、ろれつが回らなくなった。

必死に異常を矯正しようとするがどうにもならない。

石◇さんが真っ先に異変を感知し「▽○さん、どうした!何かおかしいで!」と言うのがはっきり聞こえていた。

店の人に異変を告げ、「救急車を呼んで!」と言う声も聞こえていた。

救急車は 7~8 分後に到着、その時点では異常は消えていたし、救急隊員の質問にも明確に答えた。

「どこの病院へ連れて行ってくれるんですか?」と質問、「甲賀病院です。」という返事だったので、ダメ元で「滋賀医大にいつもお世話になっている。」と言ったら、「受け入れてくれるかどうか聞いてみます。」ということだった。

滋賀医大 OK ですので医大に搬送します。」と告げられ、少々ホッとした。しかし一方で、症状が進んでこのまま二度と元気な生活に戻れないかも知れないという不安も頭を過ぎった。

25 分くらい半裸で血圧計や心電計パッドを何枚も貼られ、うすら寒い救急車のベッドに横たわって揺られた。滋賀医大に着いた頃は車酔いで吐きそうだった。

多勢の医師、看護師や医療スタッフに取り巻かれ、慌ただしい問診・外見チェック・触診・簡単な神経機能検査・持ち物検査(診察券・健康保険証・携行薬など)・診療歴チェック・血液検査が行われ、その場で下った診断は「脱水症状に伴う一過性脳虚血症」だった。

そう言えば厚着をして汗をかいたのに朝のハーフラウンドで一滴も水を飲まなかったな一!即、神経内科入院、診断に沿った治療が直ちに開始され、最初は水分点滴補給による脱水症状改善である。

その日の内に、CT・MRI を撮られ、「一過性脳虚血症」と正式に告げられた。

その直後から脳虚血の原因となっている血栓除去のためのヘパリンとラジカット点滴が 12 日間続けられて脳血管の詰まりはほぼ消え、12 月 31 日退院できた。

所で、数年前から滋賀医大公衆衛生学研究室の頭部などの動脈硬化症研究に協力して 1 年 1 回無料で MRI 検査や CT 検査、血液検査、日中の血圧変動検査などをしてもらっている。

「医療の進歩のために進んで研究協力」という大義名分ではあるが、のみならず 1 回行くと 5,000~10,000 円の研究協力謝礼が貰えるので、喜んでいそいそと出掛けている。

今年の検査は 2 月頃にあったが、MRI で脳内に微小出血痕のあることが発見された。精密検査を受診、無茶なことをしなければとくに治療の必要はなく、1 年後に再度 MRI 検査を受ければよいということなので、診断が下るまでのほんの数日間の謹慎・執行猶予期間の後は、喉元過ぎれば何とやら、暑い盛りのソフトボール、草刈ボランティア、近所の友人たちとのビール&放談会に欠かさず参加の状態に復帰し、喜んでいる。

これが私の初めての救急車搬送体験記と後日談であり、関係者に最敬礼である。

第 2 回目の救急車体験はいつ来るだろうか？

## [08] 随筆「ジェーン台風」を書きました

昭和25年8月30日硫黄島付近で発生したジェーン台風が9月3日四国、近畿を襲った。

昭和25年という日本は未だGHQ占領下であり、朝鮮半島では6月25日北朝鮮軍が突如として38度線を越えて大挙南下し、朝鮮戦争が勃発した年であった。当時日本の気象業務は米軍と共同で行われていたため、現在の「台風7号」のような味気のない番号呼称ではなく、この台風もアメリカ式に発見者に縁のある女性の名を冠して「Jane台風」と呼ばれていた。

台風のような怖いものに女性名を付けるのは欧米風の洒落しやれなのか、文化の違いを考えると面白い。ちなみに、「美代子台風」のような和風名の台風がなかったのはGHQに遠慮していたからかも知れないが、ちょっと残念である。

当時私は小学2年生で9月3日は確か未だ夏休み中だった。

その頃住んでいた家は、大阪市大正区小林町〇▽口番地という大正時代に海を広くに埋め立てて出来た行政区の中ほどにあつて、大阪港の沿岸から4kmくらい離れていたが、海抜はゼロメートルに近かった。

そのような所だから水路が発達し、材木屋の木場や材木置き場、製材所、造船所、鉄工所などの大小の工場が沢山あったのに加えて、そこに働く人の民家も多かった。祖父は今の広島県呉市から昭和のはじめ頃に此処に来て、材木屋や工場相手のかなり大きな料亭を開業して成功し、戦後の復興景気にも乗って繁盛していた。

父親は元国鉄マンだったが戦前祖父の家に婿養子にきて和洋食両刀の料理人になって手伝っていた。

記録では風速50m/秒だったジェーン台風が来た日は未明から次第に雨風が強くなり、朝6時頃には物凄い風が吹いて家はギシギシ揺れ、子供心にも何か異常を感じて少々怖かった。朝8時頃町内の人が大声で「水が来たで！逃げなはれや！」と言う叫び声が聞こえた。

父親が外の様子を見に行き、直ぐに戻ってきて自宅前にあった大正消防署へ急いで逃げようと言った。

隣の祖父母にも声掛けしたが、年寄りで歩き辛いし、丈夫な家に住んでもいたので、2階に避難するとのことだった。

我家は別棟一階建てに住んでいて、両親は貴重品などを袋に詰め、子供はランドセルなどに教科書などを詰め込み慌あわてて家を出たが、海の方から高潮が押し寄せてきて、道路に水やら材木やらゴモクが沢山流れてくるのが見え、すでに膝辺りまで水かさがあつた。

200mほど先の三階建の消防署に着いたら既に沢山の人が避難して来ていて、2階辺りの階段に何とか居場所を見つけることができた。大人たちの話では、逃げ遅れた大勢の人が、木場から流れ出した材木にぶつかったり、下敷きになってあちらこちらで死んでいるという。



避難して 30 分ほどたった頃、雨風が急に止み、薄日が射して静寂が訪れた。

10 歳上の姉の話だと「今台風の目が通過してるんちゃうか」ということだった。

何のことかその時は理解できなかったが、不思議な体験をした。

それから 10 分くらい経つと再び風雨の音が激しくなったが、多分私は親にもたれかかって寝てしまったように思う。

午後になると雨風はほぼ収まり、2m 以上あった水も干潮に乗って引き始め、消防署から追いつかれて家に帰ったが、周りや中は 40~50cm の深さの泥と水で、家材、ごみ、小動物の死体などが散乱していた。

ただ、祖父母の棟だけにあった 2 階の部屋は無事であり、私達も祖父母の棟の 2 階で寝泊まりすることになり、蠟燭や灯油ランプを灯してあり合わせのもので夕食を摂った。

地域ではちょっと名の通った料亭（「ひさご」）& レストラン（「常盤ときわ」）だったので、食料の備蓄はかなりあったが、ガスなしで何を使って煮炊きしたかまでは記憶にない。

ただ、庭に 2ヶ所井戸があったので水・食料は近所の人にも分けた。

翌朝は台風一過の快晴で、私の親や使用人達の手で泥水の掻き出しや片付けが始まった。

祖父は一応町内の顔役だったので町内見回りの指示や取引先からの食料調達、出入りの専属大工に修理などを指令していた。

この時初めて市から配給された乾パンを口にした。

私達子供はこんな異常事態にも拘わらず何となく浮き浮き気分、近所の悪ガキ連中と泥水の中を探検して回った。

すると沢山の海の魚が水溜りの中で跳ねているのを発見し、鱸(すずき)、鰯(あじ)、せいご、ちぬ、鰻などをバケツに何杯も拾って家に持ち帰ることが楽しい仕事になった。

魚を探しに行ったら、もの陰に死体があったという話も聞いたが、幸い私はそれには出会わなかった。

3 日ほど経ってから水道水が出るようになり、掃除と炊き出しが進んだ。

しかし、建具や畳とか寝具、家具の取り換えが済み、元に近い暮らしと営業を取り戻す迄には約 1 ヶ月は掛かったと思う。

2 学期の始業式が 1 週間くらい延期になったことを小学校の先生が手分けして一軒一軒回って伝えてくれた時には、不謹慎にも「ウォー」と歓声を上げた。

今から思うと先生の訪問の主目的は生徒や親の安否確認であったようだ。

私が何かにつけ厳しかった祖父母と毎日一緒に布団を並べて寝て何週間かを過ごしたのは、生涯でこの時が初めて最後であったが、風水害という大惨事にも拘わらず何か懐かしい思い出である。

ジェーン台風の被害は、全国で死者 398 名、行方不明者 141 名、負傷者 26,062 名、住家全壊 19,131 棟、住家半壊 101,792 棟、床上浸水 93,116 棟、床下浸水 308,960 棟であったという (Wikipedia から引用)。

現在の大都市では、丈夫な防潮堤構築や地盤の嵩かさ上げなどの災害対策がなされてい

るので、浸水の心配はほとんどなくなったであろう。

今住んでいる滋賀県は自然災害少数県で大変結構なところだが、生まれ育った大阪に比べて何かにつけてのんびりした人の気質・土地柄であるのは、気候が比較的穏やかで、古来から自然災害のレベルが低いためであろうか。

善哉憂慮同居而表裏一体也。

## [09] 随筆「南海ホークス」を書きました

生まれて初めて球場と呼ばれるところで職業（プロ）野球を観戦したのは昭和 25 年小学校◎年生の頃であった。阪神の試合を観に父親が甲子園へ連れて行ってしてくれたのだ。相手チームがどこかは憶えていないが、客席は内外野満員だった。昭和 25 年といえば終戦後 5 年しか経っておらず、一般的な娯楽といえばラジオと無声映画くらいしかない時代、早やプロ野球に多くのファンが熱を上げていたのだ。チケット売り場の小屋で入場券を買い、内野席への階段を急いで上がるとパッと目に飛び込む広々とした緑の芝生と青い空にはいつも感動のようなものがこみ上げる。その後あとで観客のざわめき、ネット、グラウンドの選手の動き、カーン・カーン・パシッという練習の音が目と耳に入り何か異次元の世界に来たように感じたものだ。その当時の阪神は藤村富美男、吉田義男、土井垣武くらいしか記憶にないが、近所の駄菓子屋でオマケとか、くじ引きの賞品に野球選手のブロマイドを呉れたので沢山集めていた。その次に父親が連れて行ってしてくれたのは南海ホークスのファームである中百舌鳥なかもず球場で行われていた多分関西六大学野球だったと思う。今でも鮮やかに印象に残っている光景は、右打ちのバッターが外角球を力強く捉えて右翼線にライナーを打ち、その白球が右へ弓なりにカーブを描いて飛行、ラインぎりぎりのフェアグラウンドでバウンドして長打になったことであった。右バッターの球に逆らわないライト打ちが子供の目にも芸術的に鮮あざやかに見え感動したのである。余談ではあるが、それ以来右方向への強打や流し打ちに惚れこんでいるが、高校・大学でやった野球の我が打席は左方向 5 割、中方向 3 割、右方向 1 割、四死球+犠打 1 割といった比率である。右翼打ちは不本意ながら少なかったが、打った時は爽快感が心を満たしたものである。なお生涯で三振+捕邪飛は 10 回程度であるが、これは自慢できることでは多分ないだろう。現在活動中のシニアソフトボールでの右翼打ちではライトの守備が浅いのでライトゴロで 1 塁アウトになる確率が大きいので、左中間方向へ打つことが殆ほとんどである。話は又々逸それるが、今のプロ野球で右翼～右中間打ちのうまい選手ベストスリーは 1 位阪神マートン、2 位巨人長野、3 位ソフトバンク内川であろう。

私の 10 歳年上の姉も大の野球好きで、住まいのあった大阪市大正区▽◇町が和歌山などの南紀出身者＝南海ファンが圧倒的に多い材木問屋や製材所の集積する街であったために、我が家も自然と南海ホークスの熱狂的なファンとなっていた。「南海」と言う語は、関西では南海電車の行先である紀州や熊野と同義語と考えてよいのである。小学校◎年生の頃（昭和 25 年）には「大阪スタジアム」（通称、なんば球場；南海ホークス本拠）が完成し、また同じ年に始まった朝鮮戦争特需で景気が良くなり、映画・野球・芝居・ラジオドラマ・歌謡曲・漫才などの娯楽が一気に花開いたのである。私が小学校○～◇年生（昭和 27～30 年）の頃、なんば球場の南海ホークスのゲームに年 20 回以上姉に連れられて市電で通った。たしか小学生は無料に近い入場料だったと思う。当時は山本監督のホークスと水原監督の巨人

の全盛時代で、球場はいつも満員御礼だったし、南海は毎年優勝～2位の成績で大阪の街は湧きに湧いた。その頃の阪神は今と違い神戸＝兵庫県のチームという印象が強かったと思う。その時の南海には、山本（監督兼選手）、飯田、木塚、蔭山が、暫くあとでは宅和、皆川、杉浦、野村、スタンカなどがいた。暫くすると日本初のナイター設備が完成、試合は目を瞠みはり声を上げて応援し、終ると眠たい目を擦こすりながら市電で帰宅したものだ。今から思うと、当時の姉は20歳過ぎで派手好みだったので、私の役割は親の希望もあり多分虫除けに付けられていたのだと思う。

姉の南海好きは更に高こうじ、私が知らない間に「南海ホークス子供の会」というファンクラブに入れられた。母と姉共作の鷹ホークスマーク入りユニフォームを着せられて月1回くらいの頻度でファームの中百舌鳥球場へ姉に連れてゆかれて遊び、練習し、選手に教えてもらうのである。近所の悪ガキと空き地でやる軟式庭球ボールを使った三角ベースしか知らなかったの、中百舌鳥球場は天国のような所だった。しかし後々考えるに、これも姉がお目当ての野球選手と親しく話はなししたいがために私を利用したようであった。小学校5年生くらいの時にホークス子供の会会長となり、大阪球場の試合前セレモニーで満員の客が見守る中、山本監督（後の鶴岡監督）にファン代表として花束贈呈をした。あとでご褒美として社長が南海轟頂ひいきのシスコ製菓のビスケットを山ほど貰ったのは大変嬉しい思い出である。その後中学生、高校生になってもホークスファンは続いたが、大学生の頃に鶴岡監督が健康上の理由で引退し、飯田が、そして市岡高校先輩の蔭山などが監督となり、続いて野村がホークスの監督になった。鶴岡監督のいないホークスはBクラスに低迷、南海電鉄も自家用車ブームで余裕がなくなり、遂に1988年（昭和63年）ホークスはダイエーに身売りされて本拠地を福岡に移した。ここで姉や私のホークスファンの熱は冷め切ってしまった。ちなみに、現在81歳になる姉は孫にメガホンなど七つ道具や荷物を持たせて度々甲子園へ出掛ける熱烈な阪神ファンである。

プロ野球というのは、その時代の好景気企業がオーナーになるようで、プロ野球のチームを持つとマスコミが社名を勝手に宣伝して呉れ、信用もつくからであろう。例えば、鉄道・映画・新聞・自動車・食品関係・不動産・スーパー・クレジットカード・ネット関連・携帯電話などの会社で、時代の流れと栄枯盛衰がこの方角からも見えて面白い。

## [10] 随筆「アルバイト」

(昭和39年夏の思い出話)

大学の友人達と8月中旬に北海道旅行する資金を稼ぐために生れて初めて1ヵ月ほどアルバイトをしたのは昭和39年大学3年生の夏休みだった。野球部の◇中先輩のお父さんがK薬品工業K.K.の役員だった関係でグループ会社のN薬品工業K.K.の工場でのアルバイトを世話して下さったのである。募集があったのではなく押し売りのようなアルバイトであった。工場は阪急電車のM駅から歩いて5分くらいのうら寂しい住宅街の中であって、京都の山科の下宿から京阪電車と阪急電車を乗り継いで1時間くらい掛けて通った。初日に行くとき作業着、帽子、白衣を支給された。早速指定された木造の建物に行くと35歳くらいのK大薬学部卒の責任者らしき人がいて、「今あそこの打錠機の所にいるのも君と同じ大学の学生やから、彼を手伝って一緒に仕事やってくれ。危ないから怪我せんようにやってや！」と超簡単な指示と訓示があり、その人は何処かへ消えてしまった。

昭和39年当時は現在と違ってGMPなどの厳しい規制がなく、学生アルバイトでも薬の製造に従事できる万事大らかな時代だったのである。それで打錠機の側で腰手拭いをして団扇をパタパタさせて見守っている“君と同じ大学の学生”の所へ行き挨拶すると、何とその人物は毎日大学のグラウンドで顔を合わすラグビー部4年生の宮▽喬○さんではないか。「おお、なんや！お前か。確か◇田君やったな。なんでこんなとこ来てん？」という質問に簡単に答え、「よろしくお願いします。」と挨拶したが、とにかく知っている人と一緒に仕事ができるのでちょっとホッとした。宮▽さんから一通り作業の概要を説明してもらった。作っているのは何でも「KT錠」というビール酵母や乾燥乳酸菌・消化酵素・ビタミンB1を主要成分とする直径1cmくらいの大きさの総合胃腸薬の錠剤で、名を聞いた途端「これ、テレビで宣伝してるヤツやなー！」と気がついた。顆粒が途切れないように打錠機のホッパーに入れ、うまく打錠できているかどうかを絶えず監視し、出来上がった錠剤を傷つけないように大きな容器に入れ、製品課に運ぶという作業が午前中の仕事である。うろ覚えだが、毎日数万錠くらいは打錠したと思う。朝食抜きが多かったのでKT錠剤を50錠くらい食べて腹の足しにすることも度々あったが、味はエビオスに似ていた。

12時にサイレンが鳴って昼休みとなるが、社員食堂がないのでM駅近くに1軒しかない小さな食堂に行くか、朝に買ったパンと牛乳で昼食をとった。当時はコンビニもスーパーもない時代だった上、昼食代はアルバイト代に含まれていなかったのは少々ショックだった。昼食後は職場で宮▽氏と一緒に短時間居眠りするのが日課だった。午後1時に作業開始のサイレンが鳴った。1時から行う作業は、数日後のKT



錠の打錠に使う顆粒を作るために材料を計量し、煉合機で混ぜ、ミンチ製造機の親玉のようなもので素麺状に押し出し、戸板の様なものの上に拵げて2階の乾燥室で一晩乾燥するのである。重要な成分の計量だけは流石に学生任せではなく、上記の責任者氏がやった。この作業で大量に使うビール酵母は吹田のAビールから仕入れるらしいが、大変美味しいものであったので、度々宮▽氏や私の腹に納まったものである。一晩乾燥させた顆粒はさらに乾燥機で60℃くらいに数時間熱して確り乾燥すると同時に、雑菌を殺すのである。この仕事が終わる

と今度は他の部署で製造された局方ビタミンB1注(1.0ml)アンプルのピンホール検査をやるのである。3,000本くらいのアンプルを幾つもの網かごに入れ、インジゴを溶かした青色の水で満たされた巨大水槽に重ねて入れる。次いで水槽に蓋をしてボルトを締め、真空ポンプを起動させて水槽の中の空気を抜いて減圧にする。約30分後常圧に戻して蓋を開け、網かごを取り出してホースで水をかけてインジゴ液を洗い流す。ピンホールのあるアンプルは中にインジゴ液が入って青くなるのだが、1回の検査で大体20本くらいはピンホールがあった。これを取り除き、網かごを乾燥機の棚に並べて加熱乾燥させた後、翌朝製品課に送られラベル貼り、箱詰めされて商品となるのである。そして5時に再びサイレンが鳴り、1日が終わる。当時は冷房などのなかった時代であるから、汗だくでくたくたに疲れて電車に乗り山科の下宿に帰った。時々急に作業の変更が告げられ、N薬品の花形ドリンク液商品「YK」やB1注のアンプルの熔閉、箱詰めなどの作業に臨時的に駆り出されることもあった。多分、多量の注文が入ったり、人が急に休んだり、製品検査で不良品が出たりしたことの埋め合わせのための応援だったが、いつもと違う仕事なので面白くて勉強にもなったし、パートのおばちゃん達とも親しくなれた。

約1か月のアルバイトを終えて貰った給料は1万円ほどで、昼食費などの必要経費を差し引くと結局大きな稼ぎにはならなかった。しかし、当時大学でN藤教授から習っていた製剤学の講義や実習を1ヶ月間みっちり実地にやれた訳なので、お陰様でその後のこれらの授業や試験を苦にせずに取り組めたのは有り難かった。恐らく、このアルバイトを世話し下させた上述の◇中氏が「薬学生なので勉強させてやってくれ」とでも口添えして下さっていたのだと思う。感謝感謝である。